



# 西川町 議会だより

湯殿山神社に大わらじを奉納

「若い人」シリーズ  
月山志津温泉旅館組合  
青年部のみなさん  
活動紹介は裏表紙にあります。

2013.1.15 83号  
発行 山形県西川町議会

新年のごあいさつ	2頁
議会活性化調査特別委員会の活動	3
12月定例議会	4
常任委員会の活動	6
行政視察報告	8
一般質問	10
追跡調査	13
議会だよりモニターからのご意見	14
議会の動き	15

年頭のあいさつ

より開かれた議会に

議長 井場 榮治

西川町議会では、これまでも議会活性化のため、一問一答の導入や会議の原則公開などさまざまな議会改革に取り組んでまいりました。

これまでの議会改革を更に推し進め、町民福祉向上と町政発展のために、議会及び議員の活動と責務等を定めた議会基本条例を3月の定例会に提案し、制定する予定です。

議会改革は手段であって、目的ではありません。

基本条例による新たな議会運営を活用することによって、住民の代表である議決機関としての地方議会の役割を發揮し、地域経営の一翼を担う議会として、政策の決定や執行に責任を持ち、開かれた議会運営を行なってまいります。皆さまの御支援をお願いいたします。



# 議会活性化特別委員会 中間報告 こんなことを検討しています

## 議会の 情報公開

### ◎会議の公開

現在、議会の会議記録は図書館で見ることができる。インターネットでは録画中継も見ることができる。今後は全員協議会や委員会などの会議も中継できるように検討する。

### ◎議会資料の公開

傍聴に来た人が、議員と同じ議案書を見ることができるようにする。委員会などを傍聴する時も、資料を見ることができるようにする。

### ◎議会ホームページ

24年度中に新しくする。

## 議 会

## 議会の機能強化

## 住民参加の取組み

### ◎会議の傍聴

議会だけでなく、全ての会議を傍聴できるようにする。

### ◎議会報告と対話の集い

今後とも継続する。

### ◎議会広報モニター

町民のみなさんの意見を議会活動に反映させる。

### ◎議会活動を明確に

議会及び議員活動の基本的な事項を定めるために、議会基本条例を制定する。

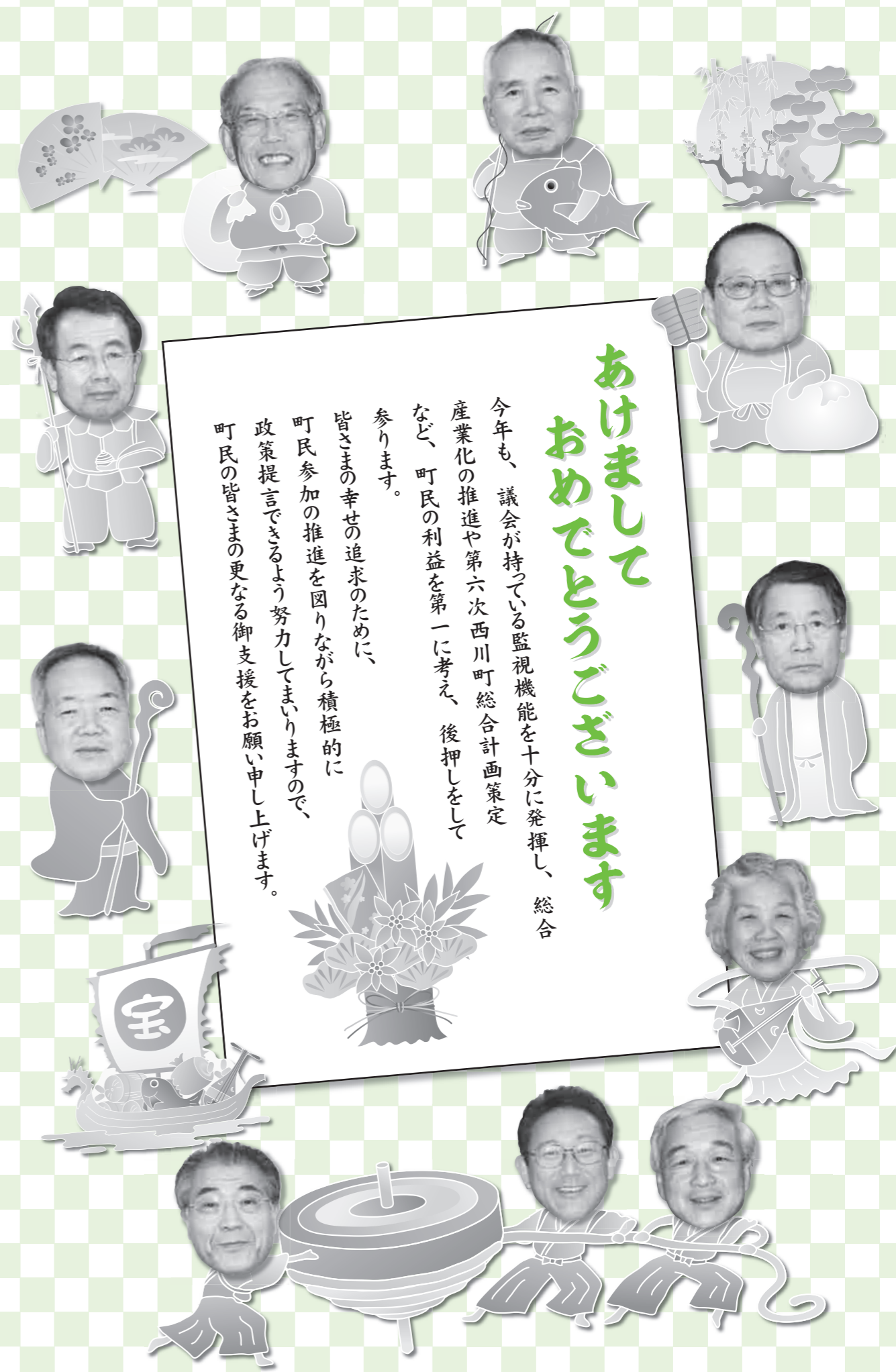
### ◎議会の権限を強く

町づくりの根幹となる基本計画は、議会の議決が必要なものに加える。

### ◎評価

町の事業に対する行政評価は継続する。議員も議会活動の目標を設定し、自己評価を行う。

※議会基本条例（案）はインターネットで閲覧できます。ご感想をお聞かせください。



あけまして  
おめでとーございませす

今年も、議会が持っている監視機能を十分に發揮し、総合産業化の推進や第六次西川町総合計画策定など、町民の利益を第一に考え、後押しをして参ります。  
皆さまの幸せの追求のために、町民参加の推進を図りながら積極的に政策提言できるよう努力してまいりますので、町民の皆さまの更なる御支援をお願い申し上げます。

全員賛成

# 廃校舎利活用で

# 旧西部中学校が民間企業に!!!

## 12月定例会

平成24年12月定例会は、12月4日から7日までの会期で開かれました。財産の無償譲渡と無償貸与、人事案件、条例改正、一般会計・特別会計・事業会計の補正予算が審議しました。

廃校舎の利活用について、町は利用したい企業に対し、建物は利用終了時に企業が解体することを条件に無償譲渡、グラウンド等の土地は無償貸与の方針を示してきました。このたび、海味に本社を置く住宅パネル製造工場のケーシー・スチール(株)から、旧西部中学校体育館を利用したいとの申し入れがありました。体育館については無償譲渡、体育館敷地とグラウンドは無償貸与の議案が提出され、全員賛成で可決されました。同社は現在海味に新工場を建設中で、今回の旧西部中学校の活用と合わせ事業拡大を行なっていくことになりました。これにより、町民を優先に新たに10名程度の雇用の拡大となり、町内における経済活性化が期待されます。



▲廃校された旧西部中学校



▲海味に新工場建設中のケーシー・スチール(株)

こんな質疑がありました

**質** 譲渡を受けた企業が何らかの理由で最終的に解体できない場合、町はどのように対応するのか。

**答** 多少の心配はあるが、町の産業振興を優先的に考えた。無償譲渡・貸与にあたっては事前に業績調査を行なった。今後も定期的な経営状況の報告を受けていく。無償貸与の土地については、10年の契約とする。

### 人事案件

☆人権擁護委員候補者の推薦  
任期満了に伴い、引き続き推薦するための提案がされました。

佐藤正子さん(間沢)  
【全員賛成】

### 補正予算

☆一般会計  
一般会計は7429万6千円が追加され、総額で48億6493万6千円となりました。

土木費では除雪機械修繕費200万円と住宅団地造成事業費7400万円を追加。  
教育費では西川小学校運営経費50万4千円、スクールバス修繕費49万2千円を追加。  
農林水産業費では森林整備地域活動支援交付金が73万円を減額。

☆西川町国民健康保険特別会計  
5653万6千円が追加され、総額7億3389万円となりました。

主な追加は、医療費の増加に伴い保険給付費が4454万円追加されました。

☆西川町介護保険特別会計  
27万2千円が追加され、

### 第5回臨時議会

11月20日開催

平成24年11月20日に第5回臨時議会が開催され、次の2件について審議しました。

☆海味二本松地内団地造成工事請負契約の一部を変更  
造成に利用する土砂を寒河江ダム等から無償で調達できたことなど、30万円減額され、総額1億2010万円となりました。  
【全員賛成】

☆一般会計補正予算  
衆議院議員選挙費用に691万円を追加し総額47億9064万円となりました。  
【全員賛成】

### 条例改正

☆西川町生涯学習支援施設条例の一部改正  
旧西部中学校の体育館とグラウンドを事業主が使用するにあたり、社会体育施設として使えなくなるため、条例から削除する提案がされました。  
【全員賛成】

☆西川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正  
女性職員の出産前休暇を「6週間前」から「8週間前」に延長するための改正が提案されました。  
【全員賛成】

【全員賛成】



【全て全員賛成】

☆西川町水道事業会計  
33万6千円が追加され、総額1億2106万円となりました。  
入間地内の消火栓の更新工事に伴うものです。



# 重要案件に

議会閉会中もこんな 活動をしています

# 新たに 目を向けて

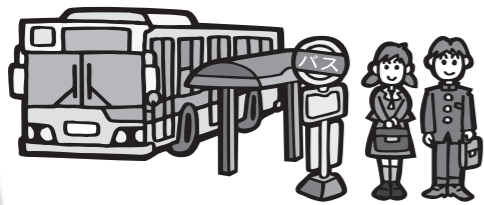


1. 小学校図書館の活用の状況
2. 通学の安全安心対策の実情
3. 町内の高齢者介護施設の状況
4. 廃校舎の現況
5. 町のホームページのリニューアルとライブカメラの設置
6. 高齢者住宅建設計画の進行状況

## 総務厚生 常任委員会

## 産業建設 常任委員会

1. 観光立町としての克服点
2. 第3セクターの健全経営の視点
3. 農業振興の課題
4. 総合産業化の課題
5. 林業・製材業の現状と課題
6. 雪対策について



1. 小学校図書館は、これまでの図書館と比較して、来館者数が28倍に増えた。中学生の利用も増加するなど、良い結果が得られている。

2. バスの乗車指導や徒歩通学指導には、きめ細かな対応が行われていた。今後は冬期間の安全対策の確認を行う。

▲ケアハイツ西川での事務調査

▲大井沢の湧水を活用したわさび園

1. 近年の観光は、目的性の旅行が多く少人数の傾向にある。観光協会の自立化など、観光立町としての克服すべき課題は多い。

2. 第三セクターの経営の効率化を図るため、社長・専務を町長・副町長が兼務する体制の見直しや、(株)米月山と西川町総合開発(株)の一体化なども検討すべき。

3. ケアハイツ西川は、老人福祉施設がなくなったので、短期受入れが3床しか確保できず、待機者は病院や町外の施設を利用しながら入所を待っている。町内に、認知症を受け入れるグループホームがなく、町外の施設を利用しなければならぬ。町民が困らないように、今後、受入れ施設の検討を進める必要があると思われる。

4. 廃校舎は、周辺の草刈も含めて維持管理が大きな課題である。

5. ホームページは毎日更新して、常に正しい情報を掲載しないと役に立たない。ライブカメラ1機を設置する計画であるが、目的を明確にした検討が必要である。

6. 海味の住宅団地に建設が予定されている高齢者住宅は、当初平成23年度中に建設計画を作るとしていたが、まだできていない。町の結論が急がれる。

また直売所やトイレの位置を見直し、道の駅に活気を与えていく必要がある。

3. 農業振興のために、新規就農者の育成とフォロワー体制を充実する取り組みを強化する。

4. 総合産業化は、成果と課題の共有化を図り、町内産業の底上げをどうするか結論を急ぐべき。

5. 林業振興のために作業道の整備をはかること。製材業の木材乾燥機の導入については、関係事業者と町が役割を明確にして進めること。

6. 流雪溝の課題は、具体的な解決策を示し理解を求めること。雪室については、成功事例が少なく今後の検討課題である。

# 行政視察報告

# 活かそうわが町に

平成24年10月22日～24日・秋田県と青森県に行きました

## 株式会社 三浦製材所

秋田県由利本荘市  
三浦製材所の概要  
創業 昭和35年  
従業員数 25人

### 乾燥材への取組み

- 乾燥木材「乾太」を製造
- 乾燥施設 3棟
- 設備経費
  - ・ボイラー1機（配管を含む）約300万円
  - ・乾燥室1棟約1千250万円

●**研修内容**  
木材の乾燥には、天然乾燥と人工乾燥の2種類ある。一年間天然乾燥しても木材の水分は完全に乾燥しきれないため、表面の割れや狂いが生じ材質は安定しない。

住宅メーカーからは、人工乾燥で、材質のバランスを取り、規格どおりに仕上げた後に出荷することを求められていることから、自社で木材乾燥設備を導入していた。

◆乾燥設備は町内事業者でも導入可能な金額であることが分かった。

◆十分な知識がないと品質の良い乾燥木材は作れない。経営者の意識の高さが必要だ。



▶ 木材乾燥施設



## 能代市役所

秋田県能代市の概要  
人口 5万9204人  
面積 426.7km<sup>2</sup>  
(山林面積 252.2km<sup>2</sup>)

### 行政組織

職員数 515人  
(林業木材担当4人)

### 活力ある林業・木材産業へ施策の体系

- 一、森づくり
- 二、産地づくり
  - 間伐施策等の推進
  - 路網の整備・拡充
  - 地域産材の安定供給
  - 地域産材の品質向上
  - 木材産業の基盤強化
  - 木質バイオマスの利用
- 三、人づくり
  - 担い手の育成・確保

- 四、心づくり
  - 事業体の強化
  - 森林とふれあいの促進
  - 緑化の推進
- 五、木のまちづくり
  - 木のまちづくり
  - 木の学校

### ●研修内容

取組み  
秋田杉の木材産業振興の

◆木材の出荷額は、最盛期の昭和55年には約500億円あったが、平成21年は150億円に減少しており、木材産業振興は苦戦していた。しかし、心づくりと木のまちづくりは、将来の木材を育てる価値観づくりに確実につながる取組みとなっていた。

◆西川町でも専門部署を設け、山林所有者や森林組合があるが、2施設が同じ建物の中に入っていることにより課題を克服しようとしている。

西川町でも認知症対策が急務であることを実感した。

## 名川病院

### 青森県南部町の概要

人口 2万1123人  
(高齢率30.9%)  
面積 153.2km<sup>2</sup>  
(半分が山林・原野)

### 名川病院の概要

一般病床数	26床
療養病床数	40床
診療科目	12科
医師数	5人
医療技術員	13人
看護師	26人
准看護師	12人
一般病床利用率	100%
療養病床利用率	95%
外来患者1日平均	169人

### ●研修内容

5年間黒字経営を続けている名川病院では、近隣に入院施設が少なく、町内開業医との連携による入院ベッドの有効活用を行っている。

経営理念としては、「売上を伸ばさそうとしない」「民間がやりたがらないことをする」「頼まれた

仕事は断らない」など、千葉院長から説明を受けた。

◆利用率の高さは、近隣に病院が少ないという条件の違いが大きいと感じたが、院長自らが明確な経営方針を持ち、地域医療に貢献しようとする意識の高さに感銘を受けた。

◆地域住民の求める医療の実現を図るために、院長がリーダーとなって経営改善をできるような体制を町が作ることが重要だと実感した。



▲ 説明する千葉院長

## 社会福祉法人 寿栄会

### 青森県八戸市

小規模多機能型居宅介護事業所「りんごっこ寿楽荘」

- ・「デイサービスと同じく「通い」を中心にしたショートステイ（宿泊）と訪問サービスが利用できる見知りや認知症のある高齢者も安心して利用できる施設
- ・通所利用1日15人
- ・宿泊利用1日7人程度

### グループホーム

#### 「たむかい寿楽荘」

・認知症があり、家族での介護が困難な高齢者とケアスタッフが共同で生活を営み、利用者があたりまえに生活できるように支援する施設  
入所は9人まで

### ●研修内容

小規模多機能ホームとグループホームの運営状況

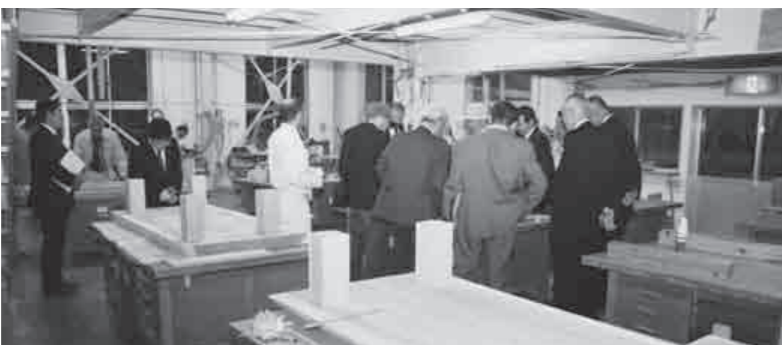
◆2施設とも少人数規模であり、経営的に難しい面



▲ りんごっこ寿楽荘の前で



▶ 木の学校工作室



合、製材業者を巻き込んだ将来にわたる森林利用計画を早急に作る必要がある。



宮林 昌弘 議員

## 産業推進

# 来年度予算の重要事業は

町長 具体的に検討して推進する



▲床に亀裂が走り、耐震工事が急がれる役場庁舎

**質** ① 最重要政策である若者定住の住宅政策と、分譲宅地の販売戦略と販売手法をどう考えているか。

② 定住の必須要件である、産業振興と雇用の場づくりの条件整備をどう考えているか。

③ 町民体育館と役場庁舎の耐震化工事の年次計画と財政計画、財源をどうするのか。

④ 町有林貸付料の低減や林道の維持管理など、林業低迷が長引く中で今後の林業再生と林業活性化策をどう考えているか。

**答** ① 町独自の恩典や価格等を3月まで決め募集する。広場を雪捨場や家庭菜園として貸出す等、特徴を考えたPRや販売の方法も検討している。

② 賃貸集合住宅や雇用奨励金、\*企業インターンシップの導入と商工業振興資金や信用保証制度の充実を図る。

③ 着工は26年度から27年度を想定しており、財源と財見通しを立てて行く。

④ 町有林は運営委員会の意見を受け、林道維持管理支援、森林活用研修を検討する。

林業活性化は、国に対策を要望するとともに、木質ボイラー導入や住宅団地の町内産木材使用を検討する。

\*企業インターンシップ  
町内企業で学生の職場体験実習を受入れる制度



奥山 敏行 議員

## 伝統文化

# 歴史ある西川菊まつりをどう継続するか

町長 今後とも予算等で支援していく



▲西川菊まつり審査会

**質** 77回目となる伝統ある西川菊まつりは、三山重陽会の会員と菊人形づくり愛好会、玉菊づくり地域協力者によって賑やかに展示することができた。しかし菊づくりのメンバーも減り、大菊づくりの指導者も高齢化が進み、菊づくり愛好会の皆さんで頑張ってきたが、このままでは菊まつりも心配になってくる。

西川町の歴史ある菊まつりを、絶やすことのないように続けていく覚悟や、方策を持っているか。

**答** 西川の菊まつりは町内の最も歴史ある催しであり、三山重陽会、菊人形づくり愛好会の方々の大変な熱意はもとより、玉菊や企業菊の展示、さらに町内外の多くの企業からの協賛金などの提供により開催できている。まつりの振興発展のためには、有志の方だけでなく、広く町民の方々の協力が必要であり、そのための橋渡しや調整の役目を行政が担っていくことが重要と考える。

当面町としては、予算的な支援や大臣賞など表彰の継続、充実、企業菊栽培の拡充、菊栽培の講習会、南陽市愛好会との交流などに取り組んでいく。

# 一般質問

# 明確な答弁を求めろ!!

**一般質問とは** 町の行財政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行なう論議

※詳しくはインターネット録画中継をご覧ください。

# 平成25年度予算編成の方針は!

町長 後期計画に基づいて行う



伊藤 哲治 議員



▲若者グループとの町長と語る会

**質** 小川町長が就任されて3年を経過し、平成25年度予算編成は、町長自身が掲げた政治姿勢について仕上げの予算編成になると思う。「西川町を元気に!若者に夢を!女性の声を町政に!町民参加のまちづくり」を推進するために、どのような基本方針に基き、具体的な編成方針で臨まれるのか。

**答** 後期実施計画に基づく施策目標の達成に努めるとともに、新計画を策定し町の将来像と道筋を示す事が元気につながると思う。若者に夢をの実現は、総合施策が必要で特に総合産業の推進、子育て支援、若者定住に力を入れる。

女性の声では、新計画策定の審議会や委員会への参加や、町長と語る会等でも意見をいただく。

町民参加のまちづくりでは、多くの町民から意見をいただき、未来塾や町長と語る会での意見交換、審議会等の公開、パブリックコメントの他、ホームページでの投稿も活用する。地域づくり計画も新計画に盛り込み、地域活動の支援も継続する。

5人の一般質問

5人の一般質問

# 追跡調査 part ③

## 西川小 校舎の安全対策について



▲改修後



改修前▶

7月17日の臨時議会に提出された西川小学校の安全対策のための改修工事の結果について調べてきました。

7月の臨時議会では、「体育館ステージ側から入る階段の手すり取り付け」と、「校舎の外開き窓のストッパーの調整」の2箇所の改修工事の補正予算を可決しました。

改修する場所は、事前に議会の総務

厚生常任委員が現場を見ており、直し方についても具体的な意見を述べています。

12月12日に校長先生に案内していただき、確認した結果、議員の意見も取り入れられており、安全に使えるように直されています。



▲改修後



▲改修前

体育館のステージ側にある階段の、手すりの格子幅が広すぎて、低学年の子どもたちが落下する可能性もあるので、格子のところにアクリル板を新たに設置しました。

### 階段落下防止 アクリル板設置工事

### 窓の開閉改良工事

廊下や階段にある、アルミサッシの窓が広く開きすぎるため、子どもたちが身を乗り出して落下する危険があることから、開き具合を狭くするストッパーを設置しました。

### 新たな指摘箇所

西川小学校が開校してから8カ月になり、児童が生活する中で階段の踊場にある柵など子どもが登ると危険と思われる箇所が見つかっています。学校では、校長先生始



▲ 図書館 登ると危険な踊場の柵



▲ 昇降口 登ると危険な踊場の柵

め、先生方の全面協力のもと、子どもたちが安全に楽しい学校生活が送れるよう努力しています。

議会では、今後とも関係者とともに検討していく必要があると考えています。

## 国民健康保険

# 保険税を減税せよ！



飯野 咲子 議員

## 町長 減税は考えていない



▲国保事業で行なわれている健康教室

**質** 国保の財政難を乗り切るためと、国は市町村国保の運営主体を都道府県単位に統合する法案を成立させたが、改善を求める住民運動が広がっている。

西川町は、税込納率、基金保有率も43%と高く、共に県下第1位。健診受診率も高く、優良保険者なので、今回の広域化は国、県から新たな財源がくるわけでもなく、解決にはならないのではないかと、基金の取り崩し等で、高い国保税を減税すべきではないか。

**答** 県の広域化等支援方針は、昨年の9月に策定されたが、その前に県の担当課長と直接意見交換し、町の要望を伝えて同意した経過がある。

今年の6月には、広域化の前提となる後期高齢者医療の廃止、存続について、国民会議で論議し結論を得ることになっていったが、衆議院解散、総選挙で制度がどのようになるのか全く見えない状況であり、国の動向に注視しながら対応していく。

当町の保険税は県内でも下から1、2番目と低く、かつ全国的にも低い水準にあるため減税は考えていない。

## 産業

# 総合産業化の今後の見通しは！



佐藤 幸吉 議員

## 町長 山菜等を活用して推進していく



▲-30℃で急速冷凍した月山筍

**質** 議会が昨年提出した総合産業化の「政策提言」について、どれだけ町の政策に反映しているか。

また、政策推進には、県の指導と予算的支援をどのように求め、町内関係者との連携と役割（システム作り）をどのように作っていくのか。

さらにこの政策によって町民の暮らし等がどう変わるのかを示し、町民との目線をともにすることが大切と考えるがどうか。

**答** 町が目指す総合産業化は、議会からも提言があったように1次産業が基本であり、農林産物の生産量拡大等への支援、保存・加工対策として急速冷凍機や米粉機等の施設整備を進めている。

県からは、加工技術指導や加工グループ育成補助、国からは過疎地域等自立活性化推進交付金の支援を受けている。

小規模農家が多い本町では、高齢者や女性でもできる農業が必要であり、農産物に付加価値を付け所得向上を図っていく。そのためにも、町の豊かな自然環境で育った山菜等を活用した総合産業化を推進していく。

# 「文書アドバイザー」と「読者モニター」が決まりました!

議会だより81号で募集した議会だより文書アドバイザーと読者モニターは、アドバイザーに女性1名、モニターは女性3名、男性5名で計8名の方にお願ひすることになりました。

10月15日発行の「議会だより82号」から見ていただきます。

※氏名の公表を望まない方もいらっしゃるので、記載は控させていただきます。

文書アドバイザーからは、分かりにくい部分の指摘をいただき、どのように表現すべきかについて具体的なアドバイスをたくさんいただきました。また、読者モニターの皆さんからはアンケート形式で全てのページに目を通していただき、たくさんのご意見をいただきましたのでご紹介いたします。

### モニターアンケートの内容

ページごとに感想と意見をお聞きしました。

例) ア. このままでよい (具体的な感想・ご意見)    イ. 改善した方がよい (具体的な感想・ご意見)    ウ. その他 (具体的な感想・ご意見)

ア. 分かりやすい    イ. 分かりにくい    ウ. その他 (具体的な感想・ご意見)

ア. 見やすい    イ. 見づらい    ウ. その他 (具体的な感想・ご意見)

### 表紙・裏表紙

モニターアンケートの中から  
◎：最も多かった意見

◎「このままでよい」  
今後とも地域で活躍している人を紹介してほしい。  
●町報と間違われない表紙であれば、もっと良い。

目次	1
定例議会の報告	2
「分りやすい」	3
「読者モニター」	4
「文書アドバイザー」	5
「分りやすい」	6
「読者モニター」	7
「文書アドバイザー」	8
「分りやすい」	9
「読者モニター」	10
「文書アドバイザー」	11
「分りやすい」	12
「読者モニター」	13
「文書アドバイザー」	14
「分りやすい」	15
「読者モニター」	16
「文書アドバイザー」	17
「分りやすい」	18
「読者モニター」	19
「文書アドバイザー」	20
「分りやすい」	21
「読者モニター」	22
「文書アドバイザー」	23
「分りやすい」	24
「読者モニター」	25
「文書アドバイザー」	26
「分りやすい」	27
「読者モニター」	28
「文書アドバイザー」	29
「分りやすい」	30
「読者モニター」	31
「文書アドバイザー」	32
「分りやすい」	33
「読者モニター」	34
「文書アドバイザー」	35
「分りやすい」	36
「読者モニター」	37
「文書アドバイザー」	38
「分りやすい」	39
「読者モニター」	40
「文書アドバイザー」	41
「分りやすい」	42
「読者モニター」	43
「文書アドバイザー」	44
「分りやすい」	45
「読者モニター」	46
「文書アドバイザー」	47
「分りやすい」	48
「読者モニター」	49
「文書アドバイザー」	50
「分りやすい」	51
「読者モニター」	52
「文書アドバイザー」	53
「分りやすい」	54
「読者モニター」	55
「文書アドバイザー」	56
「分りやすい」	57
「読者モニター」	58
「文書アドバイザー」	59
「分りやすい」	60
「読者モニター」	61
「文書アドバイザー」	62
「分りやすい」	63
「読者モニター」	64
「文書アドバイザー」	65
「分りやすい」	66
「読者モニター」	67
「文書アドバイザー」	68
「分りやすい」	69
「読者モニター」	70
「文書アドバイザー」	71
「分りやすい」	72
「読者モニター」	73
「文書アドバイザー」	74
「分りやすい」	75
「読者モニター」	76
「文書アドバイザー」	77
「分りやすい」	78
「読者モニター」	79
「文書アドバイザー」	80
「分りやすい」	81
「読者モニター」	82
「文書アドバイザー」	83
「分りやすい」	84
「読者モニター」	85
「文書アドバイザー」	86
「分りやすい」	87
「読者モニター」	88
「文書アドバイザー」	89
「分りやすい」	90
「読者モニター」	91
「文書アドバイザー」	92
「分りやすい」	93
「読者モニター」	94
「文書アドバイザー」	95
「分りやすい」	96
「読者モニター」	97
「文書アドバイザー」	98
「分りやすい」	99
「読者モニター」	100

### 定例議会の報告

◎「分りやすい」  
内容が理解できない。  
●人事、補正予算、質疑などが入り混じって読んでにくい。  
●何について審議して、なぜそういう結果になったのかが分からない。  
●教育長の人事案件1件だけ否決されているが、疑問の声は上がらなかつたのか。また、否決された後の方向性が全く見えてこないままに否決で終わっているのが残念に思う。  
●教育長はなぜ反対されたのか理由が不明。  
●町民の一番の関心事は人事案件ではなかったのか。議会としての考え方を素直に出したほうがよかつたのではないか。

### 一般質問・決算審査・議会報告と対話の集い

◎「分りやすい」

### 行政評価

◎「分りやすい」

●事業名や事業内容など現在行われている事業が周知されているのは良いが、評価がどのように行なわれたのかが分からない。  
●リーダーチャート(グラフ)は見づらい。

### 一番興味を感じた記事

- 若人シリーズ
- 行政評価
- 議会報告と対話の集い
- 一般質問
- 決算審査

### もっと良くなる方法は

●イメージキャラクターを作って、キャラクターが分かりやすく解説してはどうか。

議会では、アドバイザーとモニターの皆さんからのご意見を取り入れ、分かりやすく親しみやすい広報誌づくりを行なっています。  
中には、直ぐには対応できないものもありますが、問題点を整理して、解決に取り組んでいきます。



▲ 文書アドバイザーの新宮さんと共に最終校正を行う

## 議会の動き

● 9月28日 村山町村議会議員合同研修会  
● 10月2日 町長に行政評価結果提出  
● 10月14日 山形県町村議会議長会議員研修会  
● 10月16日 大江・西川町町議会議員協議会  
● 11月1日 大江・西川町町議会議員総会  
● 11月12日 議会報告と対話の集い要望箇所現地視察  
● 12月11日 山形県に大江・西川町町議会議員協議会要望書を提出

● 11月13日 第5回臨時議会の運営  
● 11月22日 第4回定例議会の運営

● 12月21日 財産無償譲渡の契約

● 10月15日 事務調査の課題整理  
● 11月13日 町のホームページ  
● 11月16日 高齢者住宅建設  
● 12月4日 要請書取扱いの検討・事務調査の進め方  
● 12月14日 事務調査の課題整理

● 11月2日 産業建設常任委員会  
● 12月4日 事務調査の課題整理

● 12月6日 議会だよりレイアウト会議  
● 12月12日 議会だより編集会議  
● 12月14日 議会だより編集会議  
● 12月17日 議会だより編集会議  
● 12月25日 議会だより第1回校正  
● 12月27日 議会だより第2回校正  
● 1月8日 議会だより第3回校正

● 11月13日 議会基本条例の検討  
● 12月4日 議会基本条例の検討



『若い人』シリーズ 3

# 月山志津温泉旅館組合 青年部の活動



部長 志田 昭宏 さん (志津)

2000年を過ぎた頃から旅館の後継ぎが帰ってきたので、「月山志津温泉旅館組合青年部」として活動してきました。

西川町全体の人口が減っていく中、この志津地区だけは増えているのです。10軒ある家は全てが旅館経営をしているという地域でもあります。そこも強みとして活動をしています。

志津地区は昔から現在まで雪の多い所で有名です。青年部として冬の観光を盛り上げたい想いもあり、2006年から「雪旅籠の灯り」というイベントを開き始めてきました。

地元の間ではできる事が限られてくるので、県内外の大学関係者や企業の方々からアドバイスをいただき、共に勉強しながら現在に至っています。

春から秋の観光は、我われ青年部の上の世代の方々が築き上げてくれました。冬場の観光を新たに作り上げて広めていくことが、青年部としての使命でもあると考えています。

キーワードは「雪は宝

物」。全国でも屈指の豪雪地帯である西川町だからこそできることがたくさんあります。

交流人口を増やすためにも、地域が一体となって今以上に取り組んでいくことが重要だと思っています。

今年度で「雪旅籠の灯り」は8回目を迎えますが、ただ単に豪雪を利用したイベントではなく、そこには三山信仰や六十里越街道といった歴史的背景も関係しているのです。

食、歴史、文化といった面でも、町内のあらゆる団体の方々と連携を図りながら、まずは地元の人々が冬を、雪を、もっと好きになつてもらえることを願っています。

かつての賑わいを取り戻すべく、さらに発展して継続していけるように、今後とも日々活動していきます。



▲ 昨年の雪旅籠の灯り

ので、これからもご指導の程よろしくお願いいたします。

## 編集後記

昨年は師走の総選挙で再び自民党を中心とした体制になった。平成18年9月から7年目で7人目の総理大臣という不安定な国政。「生きていくには日常の瑣事から一生の問題まで、日々、厳しい選択を迫られている」と五木寛之の「選ぶ力」に書いてあった。有権者の一人として厳しい目で、国政を選ばなければと改めて思う。

巳年は「草木の生長が極限に達し次の生命が作られるはじめる時期」らしい。今年、西川町も新しい第6次総合計画が作られる年になる。将来の発展のため全議員で今年もがんばります。(横山 修)

### 議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は  
3月です

- ご感想お寄せください。
- 《発行・編集責任者》 議長 井場 榮治
  - 《編集委員》 委員長 奥山 敏行
  - 副委員長 横山 修
  - 委員 飯野 咲子
  - 委員 佐藤 耕二